

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成15年度	平成16年度	根拠法令・例規等	備前市長寿祝金条例 備前市高齢者ふれあい事業補助金交付要綱
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	問 担当課(室)	介護福祉課
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	施策	04	高齢者福祉		
事務事業名		14	長寿御祝事業		合 先	職・氏名 高齢者福祉係長 森中信行 電話 0869-64-1827 このシート作成に要した時間 1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	100歳の市民 年度内に75歳以上となる市民	
目的(何のために)	長寿祝金：高齢者に対し祝金を支給して敬老の意を表し、その福祉を増進する。 高齢者ふれあい事業：高齢者同士や近隣住民等とのふれあいのために町内会等が実施する敬老会等の行事に要する経費に対して、補助金を交付することにより、高齢者の心身の健康増進を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市内の高齢者宅を慰問することにより、長寿を祝うとともに、敬老精神の向上を図る。 地域でともに支えあひながら敬老の意を表し、高齢者の福祉の増進を図る。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	長寿祝金支給事業	祝金を支給する。	
	敬老事業補助事業	町内会等が実施する敬老会等に補助金を交付する。	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		13,113	16,606	16,981	
	必要人員(人件費)	千円	0.20人	1,589	0.24人	1,938
	事業費		14,702	18,544	18,658	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他( )						
一般財源		14,702	18,544	18,658		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	高齢者ふれあい事業補助人数	説明	高齢者ふれあい事業補助人数の推移			
	結果指標量	事業	6,227	6,237	6,647	
	対前年比	%	-	100.2%	106.8%	
	活動コスト	円	12,199,981	15,581,898	16,261,265	
単位当たりコスト		1,959	2,498	2,446		

事業の成果		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
成果指標名	高齢者ふれあい事業75歳以上参加率	目標値(A)	50	93	93	98
	H21年度より高齢者ふれあい事業	実績値(B)	51	89	96	到達目標値
	町内会施設参加率	達成率(B/A)	102.00%	95.70%	103.23%	100
成果指標設定の考え方・式や説明						
平成20年度までは75歳以上参加者/ふれあい事業対象者 平成21年度より申請町内会・施設/ふれあい事業対象町内会・施設						

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 <A~E>  D
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E>  C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A~E>  C

事業の目的やその数値目標がある効果指標を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		高齢者ふれあい事業は記念品配布のみの事業ではなく、高齢者同士や近隣住民とふれあえる事業の実施を推奨している。また、高齢者の心身の健康増進を図るといった目的において、施設入所者の場合は、本来は施設の責務であることから、施設への補助は除外とする。							

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	評価区分 <A~E>  D	
高齢者ふれあい事業は補助金対象者の行事への出席率が低く、事業費に比べ効果が低い。また、高齢者がこれからは増加するので補助金額は増加していくと考えられる。				

平成24年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		市民の意識、効果、補助金額等を総合的に検討し見直しに着手する。							

Action